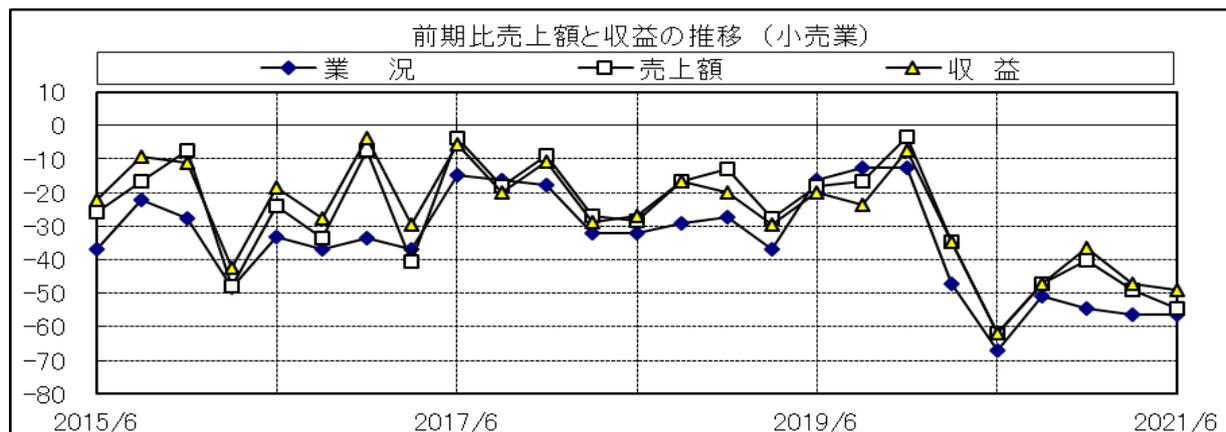


小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業況	-54.5	-56.3	-56.4	-60.0
売上額	-40.1	-49.1	-54.5	-40.1
収益	-36.4	-47.2	-49.0	-43.7

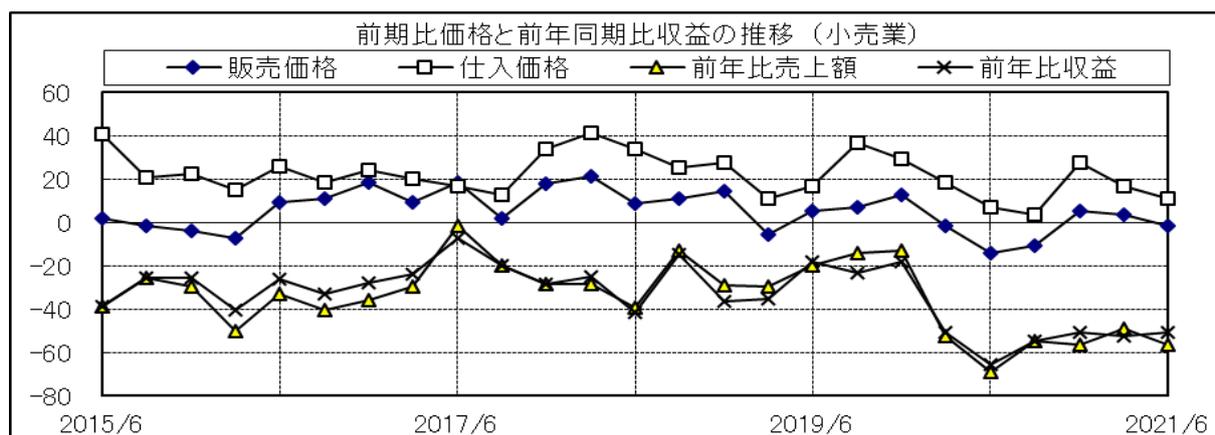
今期の業況判断 D. I. は△56.4 で、前期比 0.1 ポイント下降した。前年(△67.2)比 10.8 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、様似が最も高く、次に浦河、三石、えりも、静内と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△54.5 で、前期比 5.4 ポイント下降。収益判断 D. I. は△49.0 で、前期比 1.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	5.4	3.7	-1.8	-5.4
仕入価格	27.3	16.4	10.9	1.8

販売価格判断 D. I. は△1.8 で、前期比 5.5 ポイント下降した。前年(△14.5)比 12.7 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 10.9 で前期比 5.5 ポイント下降、前年(7.2)比 3.7 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料、食料、家電全てが下降。仕入価格は、衣料、食料が下降、家電は横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-1.8	-3.7	-11.0	-14.5
人手状況	-18.2	-25.4	-12.7	-14.5

残業時間判断 D. I. は△11.0、前期比 7.3 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△12.7 で、前期比 12.7 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

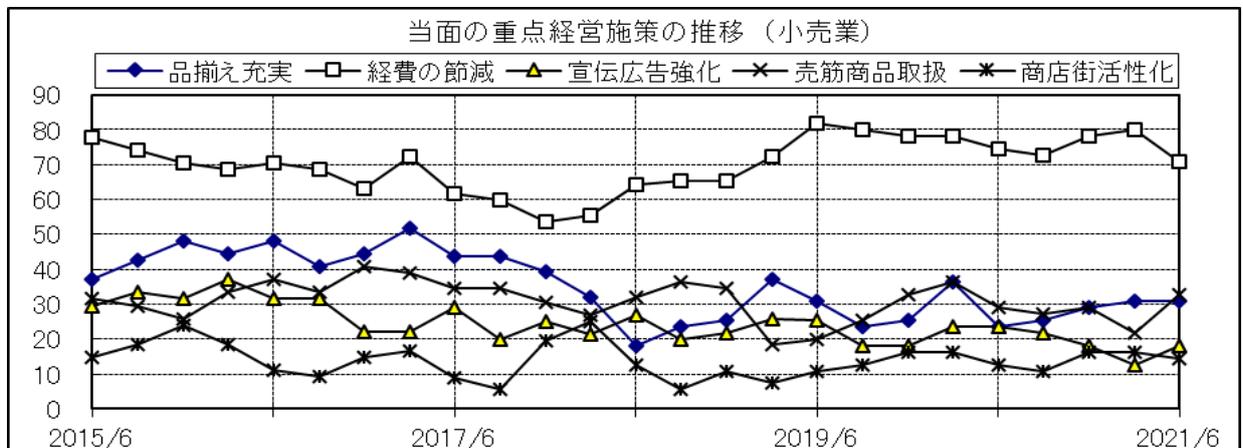
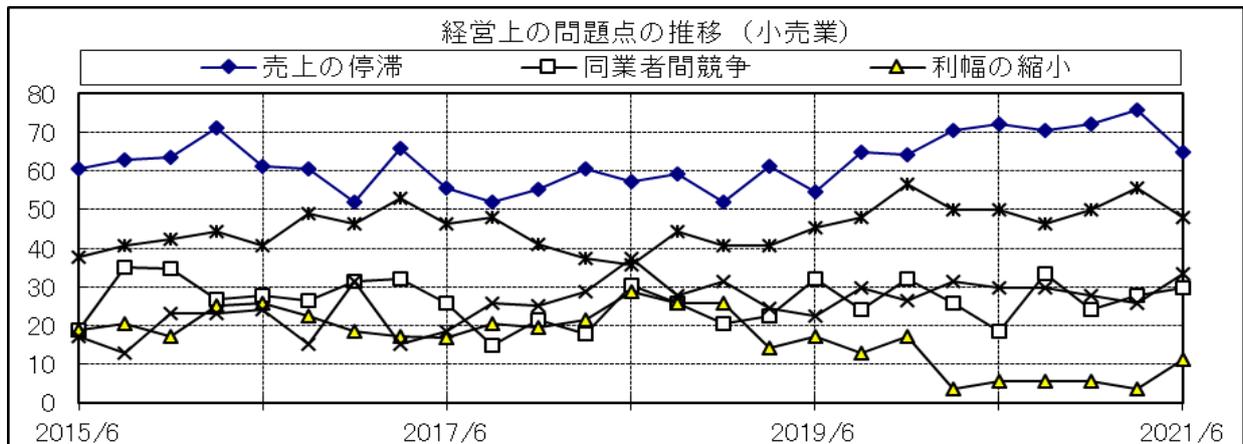
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.5で、前期(△16.4)比1.9ポイント上昇した。

設備実施企業割合は7.3で、前期(5.5)比1.8ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し4社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が64.8%と最も多く、次に「商圏人口減少」48.1%、「大型店競合」33.3%、「同業者競合」29.6%、「取引先減少」14.8%、「利幅縮小」11.1%、「人手不足」・「値上要請」が9.3%、「地場産業衰退」7.4%、「商店街集客力低下」5.6%、「販売商品不足」・「天候不順」が3.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.9%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」32.7%、「品揃え改善」30.9%、「宣伝広告強化」18.2%、「仕入先開拓」・「商店街活性化」が14.5%、「人材確保」10.9%、「教育訓練強化」7.3%、「新事業開始」・「店舗設備改装」が5.5%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△60.0と、今期比3.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△40.1と、今期比14.4ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△43.7と、今期比5.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△5.4と、今期比3.6ポイントの下降を見通している。

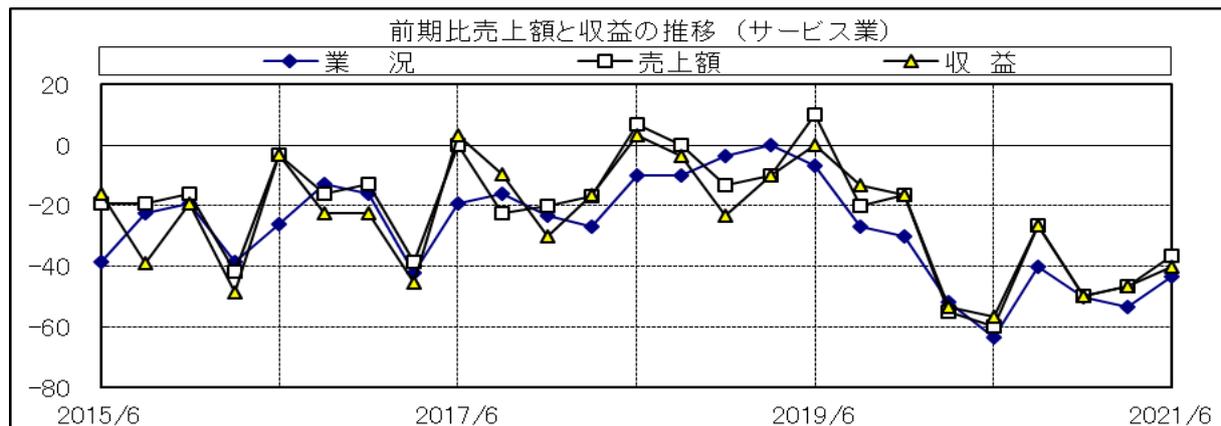
予想仕入価格判断D. I. は1.8と、今期比9.1ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-50.1	-53.3	-43.4	-53.3
売上額	-50.0	-46.7	-36.7	-30.0
収 益	-50.0	-46.7	-40.0	-30.0

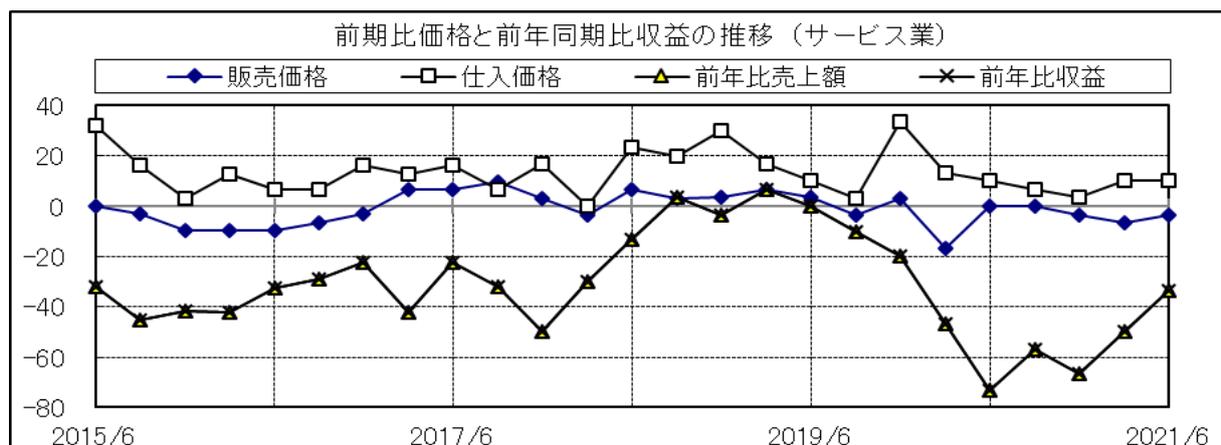
今期の業況判断D. I. は $\Delta 43.4$ で、前期比9.9ポイント上昇した。前年($\Delta 63.3$)比 19.9ポイント上昇した。地区別のD. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、様似、浦河・広尾が同率で続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断D. I. は $\Delta 36.7$ で、前期比10.0ポイント上昇した。収益判断D. I. は $\Delta 40.0$ で、前期比6.7ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
料金価格	-3.3	-6.7	-3.3	-3.4
材料価格	3.4	10.0	10.0	3.3

料金価格判断D. I. は $\Delta 3.3$ で前期比3.4ポイント上昇した。前年(0.0)比 3.3ポイント下降した。材料価格判断D. I. は10.0で、前期と同水準、前年(10.0)と同水準となった。業種別の、料金は、旅館業は上昇、洗濯理美容業、自動車整備業は横這い。材料は、旅館業、自動車整備業は横這い、洗濯理美容業は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-13.4	-6.7	-6.7	-16.7

残業時間判断D. I. は $\Delta 6.7$ で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。人手過不足判断D. I. は $\Delta 16.7$ で、前期比3.3ポイント下降し、人手不足感は強まった。

人手状況	-19.9	-13.4	-16.7	-13.4
------	-------	-------	-------	-------

□ 設備投資の動き

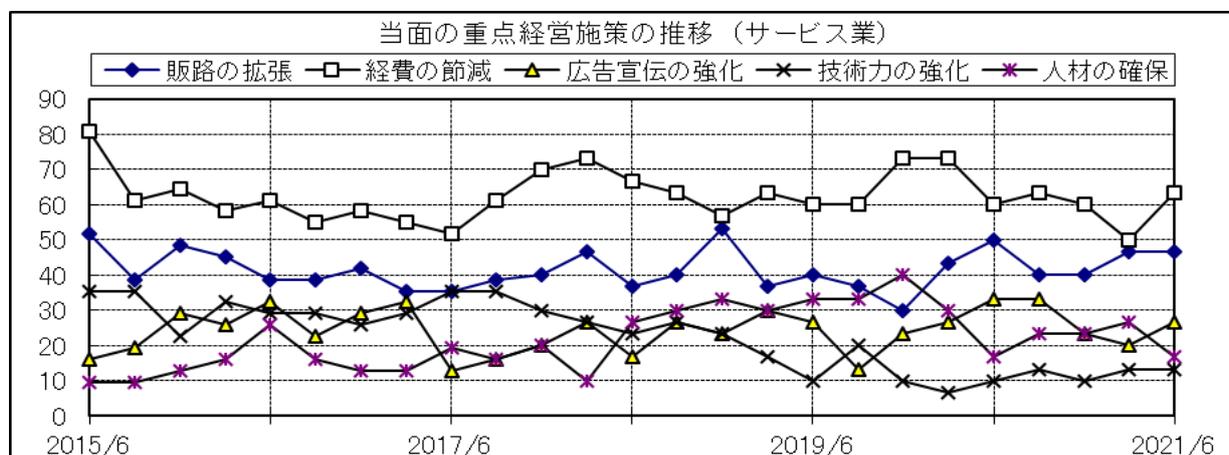
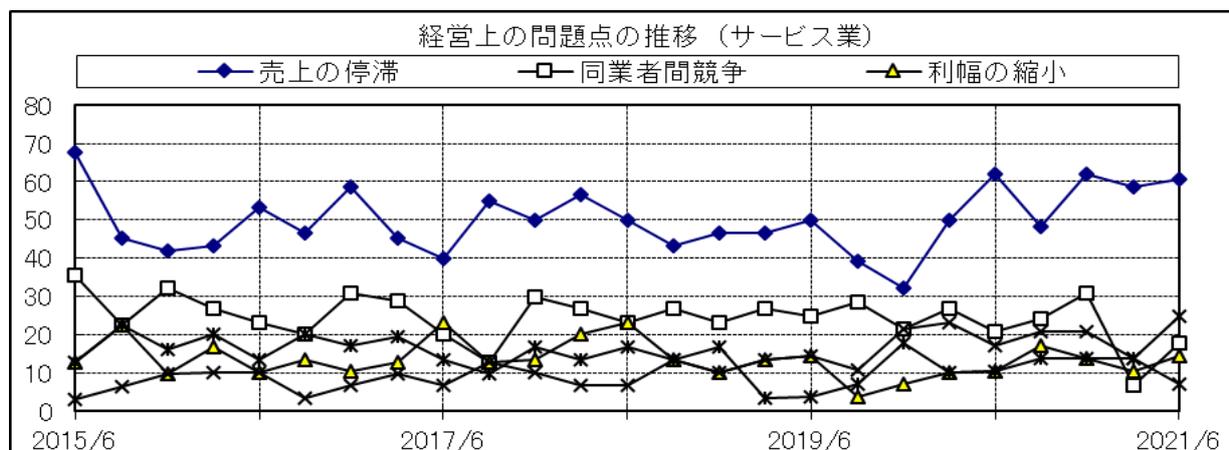
設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 20.0$ で、前期($\Delta 6.7$)比13.3ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は10.0で、前期(16.7)比6.7ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が60.7%と最も多く、次に「商圏人口減少」50.0%、「地場産業衰退」25.0%、「人手不足」21.4%、「同業者競合」17.9%、「利幅縮小」14.3%、「材料価格上昇」・「取引先減少」・「店舗設備老朽化」が10.7%、「人件費増加」・「諸経費増加」が7.1%、「合理化不足」・「料金値下要請」が3.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が63.3%と最も多く、次に「販路拡大」46.7%、「宣伝広告強化」26.7%、「店舗設備改善」20.0%、「人材確保」16.7%、「技術力強化」13.3%、「提携先確保」・「教育訓練強化」が10.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 53.3$ と、今期比9.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 30.0$ と、今期比6.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 30.0$ と、今期比10.0ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は $\Delta 3.4$ と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は3.3と、今期比6.7ポイントの下降を見通している。